【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】令和2年1月30日(2020.1.30)

【公開番号】特開2019-203383(P2019-203383A)
【公開日】令和1年11月28日(2019.11.28)
【年通号数】公開・登録公報2019-048
【出願番号】特願2019-163943(P2019-163943)
【国際特許分類】
Ｅ０６Ｂ　7/12　(2006.01)
Ｅ０６Ｂ　7/22　(2006.01)
Ｅ０６Ｂ　1/18　(2006.01)
Ｅ０６Ｂ　1/32　(2006.01)
Ｅ０６Ｂ　3/26　(2006.01)
Ｅ０６Ｂ　3/46　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ０６Ｂ　7/12
Ｅ０６Ｂ　7/22　Ａ
Ｅ０６Ｂ　1/18　Ｋ
Ｅ０６Ｂ　1/32
Ｅ０６Ｂ　3/26
Ｅ０６Ｂ　3/46

【手続補正書】
【提出日】令和1年12月12日(2019.12.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
枠体内に障子を納めた複合建具であって、
前記枠体の金属上枠における屋内側の垂下片部の少なくとも屋内側の面を覆うように配設された樹脂部材と、
前記障子の金属上框の屋内側に配設された樹脂上框と、
前記樹脂部材から前記樹脂上框に向かって延びる軟質樹脂からなるヒレ部と、を備えていることを特徴とする複合建具。
【請求項２】
前記ヒレ部は、前記樹脂部材および前記樹脂上框よりも軟質で弾性変形可能である請求項１に記載の複合建具。
【請求項３】
前記ヒレ部は、前記樹脂上框に当接している請求項１または請求項２に記載の複合建具。
【請求項４】
前記樹脂部材には断熱層が形成されている請求項１から請求項３のいずれか一項に記載の複合建具。
【請求項５】
前記樹脂部材に形成された前記断熱層は、中空のホロー部で構成されている請求項４に記載の複合建具。

【請求項６】
前記屋内側の垂下片部から屋外側に延びて前記金属上框に当接する気密材、または前記金属上框から屋内側に延びて前記屋内側の垂下片部に当接する気密材が取り付けられている請求項１から請求項５のいずれか一項に記載の複合建具。
【請求項７】
前記ヒレ部よりも屋外側に前記気密材が配設され、
前記ヒレ部、前記気密材、前記枠体、および前記障子の框体とで囲まれた空間が形成されている請求項６に記載の複合建具。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明による複合建具は、枠体内に障子を納めた複合建具であって、前記枠体の金属上枠における屋内側の垂下片部の少なくとも屋内側の面を覆うように配設された樹脂部材と、前記障子の金属上框の屋内側に配設された樹脂上框と、前記樹脂部材から前記樹脂上框に向かって延びる軟質樹脂からなるヒレ部と、を備えていることを特徴とする。
また、前記ヒレ部は、前記樹脂部材および前記樹脂上框よりも軟質で弾性変形可能であってもよい。
また、前記ヒレ部は、前記樹脂上框に当接していてもよい。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、前記樹脂部材には断熱層が形成されていることが好ましい。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、前記樹脂部材に形成された前記断熱層は、中空のホロー部で構成されていることが好ましい。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
また、前記屋内側の垂下片部から屋外側に延びて前記金属上框に当接する気密材、または前記金属上框から屋内側に延びて前記屋内側の垂下片部に当接する気密材が取り付けられていてもよい。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００１１】
また、前記ヒレ部よりも屋外側に前記気密材が配設され、前記ヒレ部、前記気密材、前記枠体、および前記障子の框体とで囲まれた空間が形成されていてもよい。